

かっこいい雨具とびっちぴちのトマトT

失敗したと思ったことは数多いが、近いところで先日の沢例会での話。

沢は衣類や道具が濡れるので、濡れたものをそのまま突っ込んでまとめられるように、玄関の棚にあった近ごろまったく利用していない某スポーツ店の青い大きなビニール袋を折りたたんであったそのままの状態でリュックサックに入れた。

山行当日、へろへろになって珊内岳の山頂に着き、太陽が沈んだ後、乾ききっていない手袋や靴下などを例の袋に入れると、入れたはずのものがハイマツの上に落ちている。もう一度試してみるが、やはりハイマツの上に落ちている。

例の袋をよく見ると底に大きな穴が空いている。よくよく見ると袋の両側にもそれぞれ大きな穴がある。なんでこんな穴が空いているんだ、なんでこんなものが玄関に置いてあったんだと思ったが、妻に指摘されて思い出した。これはかっこいい雨具であることを。妻が記念に（？）にしまい込んでいたことを。

2年前、妻と二岐沢出合から幌尻岳に行ったときのこと。当時の記録を見ると「秋、日高の山を登る。」というタイトルで以下の記述があった。

「9月20日。当初、前日に駐車場に泊まる予定だったが天気が悪そうなので予定を変更。朝起きると札幌は晴れ。計画を変更してよかったと思う。しかし、これが落とし穴だったことはあとでわかる。

登山口に向かって車を走らせると道東道に入ったあたりから雲行きが怪しくなる。まもなく雨が降り始めるが、日高の道の駅に着いたときには止んでいた。

リーダー（＊）の話によるとチロロ林道は荒れているということで車が心配だったが、きちんと整備されていて走りやすい林道に変わっていた。

駐車場にはすでに車が十数台と予想以上にあり、テントを張る場所があるか心配になる。

久しぶりに20キログラムの荷物を背負い、ゲートの脇を歩いて歩き始めるとぽつぽつと雨が降り始める。雨具を着るべきかどうか悩むがしばらく様子を見ることにする。

林道を3キロメートルほど歩くと取水ダムがあり、その先に登山口がある。登山道は何度か徒渉がある沢沿いの道だ。雨は降ったりやんだりを繰り返している。

登山道が沢を離れるといつものように急な登りが始まる。重い荷物やぬかるんだ道でなかなか思うようには高度を上げることができない。いつの間にか雨は本降りになっている。このとき雨具の上を忘れてきたことに気づく。前日に使用してハンガーに掛けたままだ。早くへたらせて買換の口実を作るため街でも着ているのだ（＊＊）。札幌が晴れていたのですっかり忘れていた。登山道を覆う濡れたササに触れ

るたびに体がひやっとする。

トッタの泉まで来ると風が吹き始める。ナイフで大きなビニール袋に3か所の切れ目を入れ、即席のカップを作る。今回の山行でナイフを使ったのはこれが最初で最後だ。」（当時の記録から抜粋）

さて、翌日へろへろになって珊内川を下り、止めてあった車まで戻った時のこと。車に置いてあった衣類に着替えようとする、Tシャツのトマトの色が赤い。私のTシャツのトマトは黄色だ。自分の棚に置かれていたので、折りたたまれたまま温泉用バッグに入れてしまったが、持ってきたのは妻のTシャツだった。着替えはこれしか持ってきていなかったの、仕方がなくサイズの小さい赤いトマトTを着て温泉に向かう車に乗り込んだ。

なんでこんなものを持ってきたんだと思ったが、私が確認をしなかったのである。カッコいい雨具はまだ捨てられていない。

*妻。この山行の少し前に釣りで林道に入っていた。

**今年ついに新しい雨具を購入したが山では一度も利用していない。

